

# 大綱質疑

9月定例会では、  
4会派が大綱質疑  
を行いました。

## 議第2号

**三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について**

**Q** 幼児教育、保育の無償化は、消費税の引き上げに伴い10月から実施されるものだが、無償化の対象となる子供や施設などの要件、対象となる子供の人数、保護者の負担額など、無償化の概要はどうか。

**A** 幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳までの全ての子供および0歳から2歳までの子供のうち、市民税非課税世帯を対象とするものであり、10月1日時点の対象者は2149人となる見込みだ。また、新設の子育てのための施設等利用給付により、国立大学付属幼稚園、私立幼稚園の預かり保育などにおいて上限額まで利用が無償となるものであり、10月1日時点で65人が対象となる。

ものと見込んでいる。

**Q** 改正では、幼稚園や保育所などの保育料が無償化される一方、今まで保育料に含まれていた給食の副食費は実費徴収される。所得の低い世帯では実費徴収により無償化の恩恵を感じない世帯も出る可能性があるのではないか。

**A** 所得の低い階層は副食費の免除対象となるため、これまでと比較して負担増になることはない。

## 議第3号

**三条市印鑑条例の一部改正について**

**Q** 印鑑登録証明書の公的証明書に旧氏を併記できるようにした経緯とその効果について、併記を希望する見込み者数について伺う。

**A** 国では、女性活躍の視点に立った制度を整備しており、旧氏を

使用し活躍する女性が増加している中、住民票やマイナンバーカードに加え、印鑑登録証明書にも旧氏を併記できるようにしたもので、改めて新しい氏で印鑑登録をし直す必要がないため負担軽減になる。平成30年度では、結婚などにより印鑑登録をし直した件数が29件あったことから、年間での内数(うちすう)程度を想定している。

## 議第7号

**令和元年度三条市一般会計補正予算**

**Q** 地方債約8000万円の減額補正後の市民1人当たりの負担額について、また、県民1人当たり、国民1人当たりの負担額について伺う。

**A** 年度末における市民1人当たりの残高負担額は約96万円、県民1人当たり約109万円、国民1人当たりは約983万円である。

## 認定第1号

**平成30年度決算の認定について**

**Q** 決算の不用額について、予算に比較して不用額が多い戸籍住民

基本台帳費、住宅費、社会教育費の主な要因は何か。

**A** 戸籍住民基本台帳費は、個人番号カードの発行枚数の実績が大きく下回ったため。

住宅費は、市営住宅の耐震改修工事の実設計委託を来年度に見送ったことと、月岡八珍住宅および藤平住宅の解体工事で請負差額が生じたため。

社会教育費は、旧三条小学校解体工事および遺跡発掘調査業務委託に請負差額が生じたため。

**Q** さんじょう一番星育成事業・学びのマルシェの成果は上がっているのか。

**A** 塾委託および市民ボランティアによる教室ともに定員には達しなかったが過去最多の参加者になった。塾委託は委託業者を変更したことにより、学力の伸びや学習意欲の向上に一定の成果があった。

**Q** 商工費の地域ブランド推進費の中で、首都圏などに向けて三条産品、観光資源およびものづくり文化の発信を行っている。シテイセールス事業の中で、昨年度取り組んだ新たな事業は何か。

**A** 昨年度は粟ヶ岳、棚田、吉ヶ平、鍛冶道場などを撮影し、グーグルストリートビューで公開した。同時に市のホームページの観光サイトにも掲載したところ、施設などの具体のイメージがつかめると評価を頂いている。

**Q** 燕三条地域のものづくりの歴史や文化を発信することを目的に、イギリスのジャパン・ハウスロンドンに展示した内容や評価はどうであったか。

**A** 企画展については、「燕三条—金属の進化と文化」をテーマとして、当地域のものづくりの進化について、社会の変化に適応してきた歴史を展示するとともに、40名を超える燕三条地域の職人が現地に行き、実演やワークショップを実施した。英国王室ウィリアム王子をはじめとして、来場者は延べ2万5000人を超え高く評価された。また、企画展終了後、現地イギリスの鍛冶職人との新たな交流が始まったほか、英国王立美術大学の学生が燕三条地域を視察に訪れるなど、企画展の開催を契機としたつながりが続いている。



## 会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊	阿部銀次郎	佐藤 和雄	森山 昭	武石 栄二	野崎 久雄	馬場 博文
清風クラブ	○西川 重則	横山 一雄	山田 富義	岡田 竜一	名古屋 豊	酒井 健	
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永				
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子					
無所属	佐藤 宗司	長橋 一弘					

※○：会派の代表者